

公的年金加入者等の所得  
に関する実態調査  
結果の概要について

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、今後の公的年金制度について議論を行うにあたって、自営業者、被用者、非就業者を通じた横断的な所得に関する実態を総合的に把握し、その議論に資する基礎資料を得ることを目的とする。

なお、本調査は、「平成 22 年公的年金加入状況等調査」の特別調査として、当該調査の調査事項にはない収入、所得の情報を得るために、特別に実施した。

## 2. 調査の対象及び客体

全国の世帯及び世帯員を調査対象とし、平成 17 年国勢調査区から層化無作為抽出法により 5,510 調査区を抽出して調査を行う「平成 22 年国民生活基礎調査」（厚生労働省大臣官房統計情報部）の調査区から、全国 1,800 地区を本調査の調査区として抽出し、当該地区内の世帯のうち市区町村への調査依頼が可能であった世帯の世帯員を調査客体とした。

## 3. 調査の実施時期

平成 22 年 11 月から平成 23 年 2 月まで

## 4. 調査の事項

市区町村の課税台帳に基づく総合課税収入（事業収入、給与収入等）、総合課税所得（事業所得、給与所得等）等

## 5. 調査の方法

調査対象世帯が属する市区町村に調査票を郵送し、当該調査票もしくは調査事項が確認できる書式を郵送で回収、または、エクセル形式の調査データを収録した電子媒体を郵送もしくは電子メールで回収する方法で行った。

## 6. 調査の系統

厚生労働省 ———— 市区町村

## 7. 集計客体

調査客体数	回収客体数	集計客体数
63,325世帯 (776市区町村)	61,252世帯 (752市区町村)	57,908世帯

※ 集計客体数は、集計可能な世帯員が1人以上いる世帯数であり、集計可能な世帯員数は123,691人であった。

## 8. 結果の集計

本調査の集計にあたっては、本調査における15歳以上の集計客体と「平成22年公的年金加入状況等調査」の集計客体を世帯員ごとに突合し、突合が可能であった客体のみを集計した(72,244人)。

なお、集計値には、都道府県別(東京都は特別区部とそれ以外、政令指定都市を含む道府県は政令指定都市とそれ以外にも区分。)、男女別、年齢階級別、公的年金加入状況・受給状況別に区分した層ごとに計算した集計乗率を乗じている。ただし、集計乗率の設定上、「平成22年公的年金加入状況等調査」の集計値とは異なるところがある。

## II 結果の概要

### 1 公的年金加入者について

この項目における年収とは、給与収入と事業所得（マイナスの場合は、ゼロ）の合計値としている。なお、公的年金の加入状況、就業形態等は平成 22 年 11 月末におけるものであり、年収は、平成 21 年の金額である。

#### (1) 公的年金加入状況別の年収の状況

公的年金加入者における 1 人当たり平均年収は 297 万円となっており、これを加入種別にみると、第 1 号被保険者が 159 万円、第 2 号被保険者等が 426 万円、第 3 号被保険者が 55 万円となっている。また、男性の公的年金加入者における 1 人当たり平均年収は 419 万円、女性の公的年金加入者における 1 人当たり平均年収は 166 万円となっている。

表 1 公的年金の加入状況別 1 人当たり平均年収

(単位：万円)

	加入者							
		第 1 号被保険者			第 2 号被保険者等			第 3 号被保険者
			配偶者有	配偶者無		配偶者有	配偶者無	
計	297	159	220	113	426	503	302	55
男性	419	205	324	123	504	583	331	173
女性	166	112	126	100	283	299	269	54

※ 男性の第 3 号被保険者の平均年収が 1 3 0 万円以上となっているが、これは前年の年収である。

表 2 公的年金の加入状況

(単位：千人)

	加入者							
		第 1 号被保険者			第 2 号被保険者等			第 3 号被保険者
			配偶者有	配偶者無		配偶者有	配偶者無	
計	68,241 ( 100.0%)	19,066 ( 27.9%)	8,412 ( 12.3%)	10,373 ( 15.2%)	39,085 ( 57.3%)	24,080 ( 35.3%)	14,694 ( 21.5%)	10,091 ( 14.8%)
男性	35,139 ( 100.0%)	9,796 ( 27.9%)	4,001 ( 11.4%)	5,618 ( 16.0%)	25,230 ( 71.8%)	17,332 ( 49.3%)	7,736 ( 22.0%)	113 ( 0.3%)
女性	33,102 ( 100.0%)	9,269 ( 28.0%)	4,411 ( 13.3%)	4,755 ( 14.4%)	13,855 ( 41.9%)	6,748 ( 20.4%)	6,958 ( 21.0%)	9,977 ( 30.1%)

※ 配偶者別の内訳には配偶者の有無が不詳な者がいるため、「配偶者有」と「配偶者無」の人数の合計は、各被保険者数と一致しない。

表3 年齢階級別加入状況別1人当たり平均年収

(単位：万円)

	加入者							
		第1号被保険者			第2号被保険者等			第3号被保険者
			配偶者有	配偶者無		配偶者有	配偶者無	
男女計	297	159	220	113	426	503	302	55
15～19歳	68	-	-	-	68	-	71	-
20～24歳	117	63	159	59	193	231	191	39
25～29歳	225	156	163	154	281	302	274	47
30～34歳	259	162	177	155	354	391	312	49
35～39歳	294	193	231	154	418	459	347	53
40～44歳	331	195	244	143	490	530	382	51
45～49歳	367	214	268	125	535	568	405	62
50～54歳	377	197	238	106	573	604	429	63
55～59歳	326	168	194	96	541	567	398	60
60～64歳	434	-	-	-	434	456	323	-
65～69歳	366	-	-	-	366	401	208	-
男性計	419	205	324	123	504	583	331	173
15～19歳	70	-	-	-	70	-	74	-
20～24歳	127	67	225	61	211	267	208	85
25～29歳	261	164	245	148	300	331	287	186
30～34歳	347	197	249	171	399	442	335	131
35～39歳	423	253	333	181	479	527	367	169
40～44歳	495	263	354	180	574	618	420	234
45～49歳	559	296	404	139	647	680	477	176
50～54歳	568	259	335	115	687	716	503	146
55～59歳	501	244	300	109	638	656	495	175
60～64歳	496	-	-	-	496	515	340	-
65～69歳	427	-	-	-	427	452	218	-
女性計	166	112	126	100	283	299	269	54
15～19歳	65	-	-	-	65	-	67	-
20～24歳	107	58	72	58	174	153	174	38
25～29歳	188	146	90	160	254	227	259	46
30～34歳	168	122	101	136	277	268	283	49
35～39歳	161	125	132	118	294	267	323	52
40～44歳	163	120	138	94	316	306	334	50
45～49歳	173	125	135	108	315	312	324	61
50～54歳	187	135	150	96	351	352	351	62
55～59歳	156	107	114	84	328	337	305	57
60～64歳	276	-	-	-	276	263	309	-
65～69歳	211	-	-	-	211	213	200	-

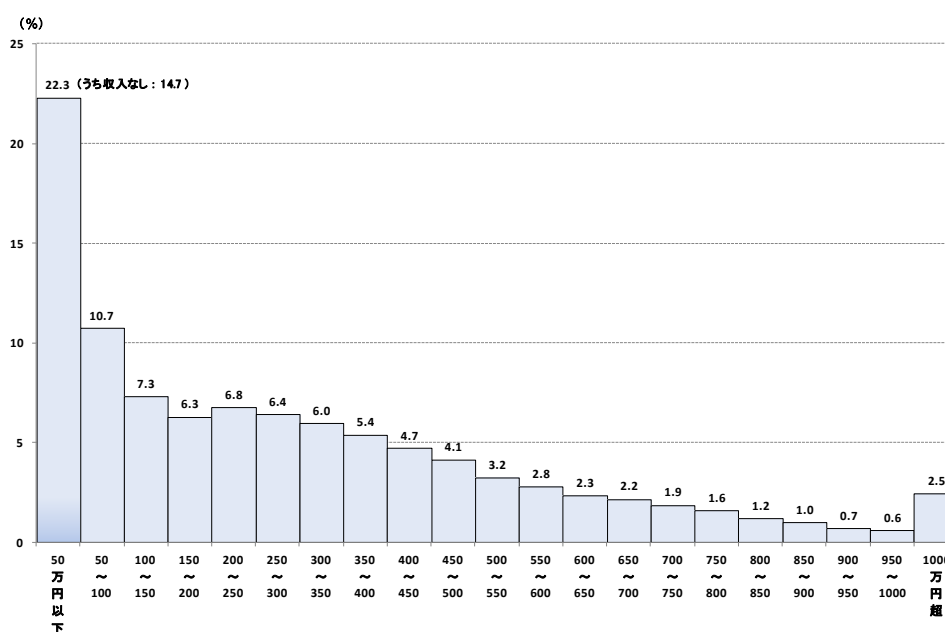
※ 男性の第3号被保険者の平均年収が130万円以上となっている年齢階級があるが、これは前年の年収である。

さらに、年収階級別加入者数の分布をみると、「50万円以下」が22.3%、「50万円超100万円以下」が10.7%と多くなっている。また、男女別にみると、男性の場合、「50万円以下」が13.5%で最も多く、次いで「300万円超350万円以下」、「350万円超400万円以下」の順となっており、女性の場合、「50万円以下」が31.6%で最も多く、次いで「50万円超100万円以下」、「100万円超150万円以下」の順となっている。

表4-1 年収階級別加入者数の相対度数分布

年 収 階 級	計					
	計		男性		女性	
	累積百分率 (%)	百分率 (%)	累積百分率 (%)	百分率 (%)	累積百分率 (%)	百分率 (%)
計	・	100.0	・	100.0	・	100.0
50万円以下 (うち収入なし)	22.3	22.3	13.5	13.5	31.6	31.6
	・	( 14.7 )	・	( 9.0 )	・	( 20.8 )
50 ～ 100万円以下	33.0	10.7	17.9	4.4	49.0	17.5
100 ～ 150	40.3	7.3	21.7	3.8	60.0	11.0
150 ～ 200	46.6	6.3	26.4	4.6	68.1	8.1
200 ～ 250	53.4	6.8	32.5	6.1	75.6	7.5
250 ～ 300	59.8	6.4	38.9	6.4	82.0	6.4
300 ～ 350	65.8	6.0	46.3	7.4	86.5	4.4
350 ～ 400	71.2	5.4	53.7	7.4	89.7	3.3
400 ～ 450	75.9	4.7	60.5	6.8	92.2	2.5
450 ～ 500	80.0	4.1	67.0	6.5	93.9	1.7
500 ～ 550	83.3	3.2	72.2	5.2	95.0	1.1
550 ～ 600	86.0	2.8	76.6	4.4	96.1	1.1
600 ～ 650	88.4	2.3	80.4	3.8	96.9	0.8
650 ～ 700	90.6	2.2	83.7	3.4	97.8	0.9
700 ～ 750	92.4	1.9	86.8	3.0	98.5	0.7
750 ～ 800	94.0	1.6	89.3	2.6	99.0	0.5
800 ～ 850	95.2	1.2	91.5	2.1	99.2	0.2
850 ～ 900	96.3	1.0	93.3	1.8	99.4	0.2
900 ～ 950	96.9	0.7	94.5	1.3	99.5	0.1
950 ～ 1000	97.5	0.6	95.5	1.0	99.6	0.1
1000万円超	100.0	2.5	100.0	4.5	100.0	0.4
公的年金加入者 1人当たり平均年収(万円)	297		419		166	
公的年金加入者数(千人) (構成割合(%))	68,241 ( 100.0 )		35,139 ( 51.5 )		33,102 ( 48.5 )	

図 年収階級別加入者数の相対度数分布



また、公的年金加入者の加入状況ごとに年収分布をみると、第1号被保険者の場合、「50万円以下」が38.0%で最も多く、100万円以下の者が5割を超えている。男女別にみた場合も、「50万円以下」が男女とも最も多く、男性で35.7%、女性で40.4%となっている。

表4-2 年収階級別第1号被保険者数の相対度数分布

年 収 階 級	計		男性		女性	
	累積百分率 (%)	百分率 (%)	累積百分率 (%)	百分率 (%)	累積百分率 (%)	百分率 (%)
計	・	100.0	・	100.0	・	100.0
50万円以下 (うち収入なし)	38.0	38.0	35.7	35.7	40.4	40.4
	・	( 24.6 )	・	( 23.1 )	・	( 26.2 )
50 ~ 100万円以下	54.7	16.7	47.0	11.3	62.8	22.4
100 ~ 150	64.5	9.8	54.8	7.8	74.8	12.0
150 ~ 200	71.2	6.7	61.2	6.4	81.7	6.9
200 ~ 250	77.7	6.4	67.9	6.7	87.9	6.2
250 ~ 300	82.5	4.8	73.5	5.6	92.0	4.1
300 ~ 350	86.5	4.0	79.3	5.8	94.0	2.0
350 ~ 400	89.5	3.0	83.8	4.5	95.5	1.5
400 ~ 450	92.0	2.5	87.6	3.7	96.7	1.2
450 ~ 500	93.9	1.8	90.4	2.9	97.5	0.7
500 ~ 550	95.1	1.2	92.2	1.8	98.1	0.6
550 ~ 600	96.3	1.2	94.2	2.0	98.4	0.3
600 ~ 650	97.0	0.8	95.4	1.2	98.7	0.3
650 ~ 700	97.8	0.7	96.5	1.1	99.1	0.4
700 ~ 750	98.1	0.3	96.9	0.4	99.3	0.2
750 ~ 800	98.3	0.3	97.3	0.4	99.4	0.1
800 ~ 850	98.6	0.3	97.8	0.4	99.4	0.1
850 ~ 900	98.8	0.3	98.1	0.3	99.6	0.2
900 ~ 950	99.0	0.2	98.3	0.2	99.7	0.1
950 ~ 1000	99.2	0.2	98.7	0.3	99.7	-
1000万円超	100.0	0.8	100.0	1.3	100.0	0.3
第1号被保険者 1人当たり平均年収 (万円)	159		205		112	
第1号被保険者数 (千人) (構成割合 (%))	19,066 ( 100.0 )		9,796 ( 51.4 )		9,269 ( 48.6 )	

第2号被保険者等の場合、「250万円超300万円以下」が8.6%で最も多く、次いで「300万円超350万円以下」、「200万円超250万円以下」の順となっている。また、男女別にみると、男性の場合、「350万円超400万円以下」が最も多く、女性の場合、「150万円超200万円以下」が最も多い。

表4-3 年収階級別第2号被保険者等数の相対度数分布

年 収 階 級	計					
			男性		女性	
	累積百分率 (%)	百分率 (%)	累積百分率 (%)	百分率 (%)	累積百分率 (%)	百分率 (%)
計	・	100.0	・	100.0	・	100.0
50万円以下 (うち収入なし)	6.3	6.3	4.8	4.8	9.0	9.0
	・	( 4.0 )	・	( 3.4 )	・	( 5.1 )
50～100万円以下	9.8	3.5	6.5	1.7	15.8	6.7
100～150	14.3	4.5	8.7	2.3	24.4	8.6
150～200	21.6	7.3	12.6	3.9	38.0	13.5
200～250	30.0	8.4	18.5	5.9	51.0	13.1
250～300	38.7	8.6	25.3	6.8	63.1	12.0
300～350	47.1	8.4	33.3	8.1	72.2	9.1
350～400	55.0	7.9	41.9	8.5	78.9	6.7
400～450	62.0	7.0	49.9	8.1	83.9	5.0
450～500	68.3	6.3	57.8	7.9	87.3	3.4
500～550	73.3	5.0	64.3	6.5	89.5	2.2
550～600	77.5	4.3	69.7	5.4	91.8	2.3
600～650	81.2	3.7	74.5	4.8	93.5	1.7
650～700	84.7	3.4	78.7	4.2	95.5	2.0
700～750	87.8	3.1	82.8	4.0	96.9	1.4
750～800	90.4	2.6	86.2	3.4	98.1	1.2
800～850	92.4	2.0	89.0	2.8	98.6	0.5
850～900	94.1	1.6	91.4	2.3	99.0	0.3
900～950	95.2	1.1	93.0	1.7	99.1	0.2
950～1000	96.1	0.9	94.3	1.3	99.3	0.2
1000万円超	100.0	3.9	100.0	5.7	100.0	0.7
第2号被保険者等 1人当たり平均年収(万円)	426		504		283	
第2号被保険者等数(千人) (構成割合(%))	39,085 ( 100.0 )		25,230 ( 64.6 )		13,855 ( 35.4 )	

第3号被保険者の場合、「50万円以下」が54.5%で最も多く、そのうち収入のない者が37.5%となっている。第3号被保険者は約99%が女性であることから、男女計の分布は女性の分布とおおむね同じ状況である。

表4-4 年収階級別第3号被保険者数の相対度数分布

年 収 階 級	計					
			男性		女性	
	累積百分率 (%)	百分率 (%)	累積百分率 (%)	百分率 (%)	累積百分率 (%)	百分率 (%)
計	・	100.0	・	100.0	・	100.0
50万円以下 (うち収入なし)	54.5	54.5	48.4	48.4	54.6	54.6
	・	( 37.5 )	・	( 31.5 )	・	( 37.6 )
50～100万円以下	82.0	27.5	54.8	6.3	82.3	27.7
100～150	95.3	13.3	63.4	8.6	95.7	13.4
150万円超	100.0	4.7	100.0	36.6	100.0	4.3
第3号被保険者 1人当たり平均年収(万円)	55		173		54	
第3号被保険者数(千人) (構成割合(%))	10,091 ( 100.0 )		113 ( 1.1 )		9,977 ( 98.9 )	



## (2) 就業形態別の年収の状況

就業形態別に年収階級別加入者数の分布をみると、「自営業主」、「家族従業者」、「臨時・不定期」、「非就業者」は「50万円以下」が最も多い。「会社員・公務員」は「250万円超300万円以下」が最も多いが、このうち「フルタイム」は「300万円超350万円以下」が最も多く、「フルタイムでない」は「50万円超100万円以下」が最も多い。

また、公的年金加入者1人当たり平均年収をみると、「会社員・公務員」が420万円で最も多く、「自営業主」が287万円、「家族従業者」が193万円の順となっている。

表5-1 年収階級・就業形態別加入者数の構成割合

	計	自営業主	家族従業者	会社員・公務員	フルタイム		臨時・不定期	非就業者
					フルタイム	フルタイムでない		
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
50万円以下 (うち収入なし)	22.3 (14.7)	26.0 (15.3)	21.8 (12.0)	5.4 (3.3)	4.4 (2.9)	13.8 (6.1)	34.9 (15.8)	74.4 (58.8)
50～100万円以下	10.7	11.2	21.5	4.9	2.2	28.0	31.2	10.3
100～150	7.3	9.6	12.4	5.1	3.3	20.7	17.0	4.6
150～200	6.3	8.4	9.6	6.4	6.0	9.6	8.0	2.8
200～250	6.8	8.5	9.1	8.2	8.3	6.2	4.7	2.4
250～300	6.4	5.6	5.0	8.9	9.4	4.7	1.9	1.6
300～350	6.0	4.6	4.2	8.8	9.5	2.8	0.8	0.9
350～400	5.4	4.1	4.1	8.0	8.6	3.9	0.4	0.7
400～450	4.7	4.3	2.3	7.0	7.7	1.9	0.4	0.7
450～500	4.1	2.2	2.1	6.4	6.8	2.4	0.2	0.4
500～550	3.2	2.7	1.8	4.9	5.4	1.1	0.1	0.2
550～600	2.8	2.3	1.3	4.3	4.7	0.5	0.1	0.3
600～650	2.3	1.2	0.5	3.7	4.0	0.7	0.1	0.2
650～700	2.2	1.5	1.6	3.3	3.6	0.7	0.0	0.1
700～750	1.9	1.0	0.3	3.0	3.3	0.5	0.0	0.1
750～800	1.6	0.5	0.5	2.5	2.7	0.8	0.0	0.1
800～850	1.2	0.8	0.2	1.9	2.1	0.5	0.0	0.0
850～900	1.0	0.3	0.3	1.6	1.8	0.2	0.0	0.0
900～950	0.7	0.5	0.4	1.1	1.2	0.3	0.0	0.0
950～1000	0.6	0.5	0.6	0.9	1.0	0.1	0.0	0.1
1000万円超	2.5	4.2	0.5	3.7	4.1	0.8	-	0.0
公的年金加入者 1人当たり平均年収(万円)	297	287	193	420	448	184	88	50
公的年金加入者数(千人) (構成割合(%))	68,241 (100.0)	3,361 (4.9)	2,422 (3.5)	41,269 (60.5)	36,371 (53.3)	4,119 (6.0)	10,510 (15.4)	10,491 (15.4)

※ 「会社員・公務員」の内訳には時間区分が不詳な者がいるため、「フルタイム」と「フルタイムでない」の加入者数の合計は、「会社員・公務員」の加入者数と一致しない。

※ 公的年金加入者のうち就業形態が不詳な者がいるため、公的年金加入者の構成割合の合計は、100%とならない。

さらに、加入状況別に年収の分布をみると、第1号被保険者の場合、「自営業主」、「家族従業者」、「臨時・不定期」、「非就業者」は「50万円以下」が最も多い。「会社員・公務員」は「50万円超 100万円以下」が最も多いが、このうち「フルタイム」は「250万円超 300万円以下」が最も多く、「フルタイムでない」は「50万円超 100万円以下」が最も多い。

また、第1号被保険者1人当たり平均年収をみると、「会社員・公務員」が298万円でもっとも多く、「自営業主」が247万円、「家族従業者」が173万円の順となっている。

表5-2 年収階級・就業形態別第1号被保険者数の構成割合

	計	自営業主	家族従業者	会社員・公務員	会社員・公務員		臨時・不定期	非就業者
					フルタイム	フルタイムでない		
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
50万円以下 (うち収入なし)	38.0 (24.6)	26.9 (15.8)	23.3 (12.1)	9.5 (5.6)	6.3 (4.2)	18.6 (9.1)	40.7 (19.4)	71.6 (55.0)
50～100万円以下	16.7	12.1	22.2	11.6	5.1	30.1	29.7	10.7
100～150	9.8	10.2	12.5	10.0	5.5	24.6	14.5	4.7
150～200	6.7	9.1	9.6	7.6	7.1	8.4	7.6	2.9
200～250	6.4	8.3	10.4	9.6	11.5	3.8	4.3	3.2
250～300	4.8	6.2	4.1	10.8	13.4	3.1	1.4	2.1
300～350	4.0	4.9	4.6	9.0	11.2	2.1	0.7	1.5
350～400	3.0	4.3	4.1	7.0	8.2	3.7	0.1	1.1
400～450	2.5	4.3	2.1	5.7	7.3	0.9	0.4	0.7
450～500	1.8	2.2	1.8	4.8	6.0	1.4	0.2	0.3
500～550	1.2	2.6	1.8	2.4	3.0	0.6	0.2	0.3
550～600	1.2	1.7	1.5	2.9	3.9	0.0	0.0	0.2
600～650	0.8	1.3	0.4	1.9	2.4	0.5	0.0	0.3
650～700	0.7	1.5	0.6	1.8	2.3	0.2	0.0	0.1
700～750	0.3	0.6	0.1	0.7	0.9	-	-	0.1
750～800	0.3	0.4	0.0	0.5	0.7	0.2	-	0.1
800～850	0.3	0.2	0.2	0.8	0.9	0.6	0.0	0.0
850～900	0.3	0.3	0.4	0.7	0.9	0.2	-	0.0
900～950	0.2	0.2	0.1	0.5	0.7	0.2	-	0.0
950～1000	0.2	0.3	-	0.5	0.6	-	-	-
1000万円超	0.8	2.4	0.3	1.8	2.2	0.8	-	0.1
第1号被保険者 1人当たり平均年収(万円)	159	247	173	298	350	147	79	56
第1号被保険者数(千人) (構成割合(%))	19,066 (100.0)	2,606 (13.7)	1,846 (9.7)	4,769 (25.0)	3,506 (18.4)	1,128 (5.9)	4,466 (23.4)	5,256 (27.6)

※ 「会社員・公務員」の内訳には時間区分が不詳な者がいるため、「フルタイム」と「フルタイムでない」の加入者数の合計は、「会社員・公務員」の加入者数と一致しない。

※ 第1号被保険者のうち就業形態が不詳な者がいるため、第1号被保険者の構成割合の合計は、100%とならない。

第2号被保険者等の場合、「会社員・公務員」の者の割合が多く、約9割を占めている。「会社員・公務員」は「300万円超350万円以下」が最も多いが、このうち「フルタイム」は「300万円超350万円以下」が最も多く、「フルタイムでない」は「150万円超200万円以下」が最も多い。

また、第2号被保険者等1人当たり平均年収をみると、「会社員・公務員」が451万円となっている。

表5-3 年収階級・就業形態別第2号被保険者等数の構成割合

	計	自営業主	家族 従業者	会社員・ 公務員	会社員・公務員		臨時・ 不定期	非就業者
					フルタイム	フルタイム でない		
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
50万円以下 (うち収入なし)	6.3 (4.0)	13.7 (8.6)	11.7 (8.0)	4.2 (2.8)	4.1 (2.7)	6.7 (3.4)	20.4 (9.9)	55.2 (43.1)
50～100万円以下	3.5	8.1	11.5	2.2	1.8	9.6	18.8	6.6
100～150	4.5	8.3	6.7	3.4	3.0	12.7	19.0	2.9
150～200	7.3	7.0	11.0	6.4	5.9	16.6	19.2	8.8
200～250	8.4	9.8	7.1	8.3	8.0	12.1	11.4	6.1
250～300	8.6	3.8	9.8	9.0	9.0	8.8	5.3	2.4
300～350	8.4	4.1	4.0	9.1	9.3	5.2	2.0	1.5
350～400	7.9	4.3	6.1	8.5	8.6	7.1	1.6	1.9
400～450	7.0	4.7	4.6	7.5	7.7	3.9	0.9	3.2
450～500	6.3	2.5	4.9	6.9	6.9	5.0	0.5	2.9
500～550	5.0	3.5	2.8	5.5	5.7	2.3	0.1	1.3
550～600	4.3	4.8	1.3	4.6	4.8	1.1	0.2	2.0
600～650	3.7	0.9	1.5	4.1	4.2	1.3	0.2	1.2
650～700	3.4	1.9	7.4	3.7	3.8	1.6	0.1	1.0
700～750	3.1	2.4	1.5	3.4	3.5	1.3	0.2	0.7
750～800	2.6	0.8	3.0	2.9	2.9	1.7	-	0.4
800～850	2.0	3.5	0.3	2.2	2.2	0.7	-	0.3
850～900	1.6	0.3	-	1.8	1.9	0.2	0.0	0.1
900～950	1.1	1.7	2.5	1.2	1.2	0.6	-	0.4
950～1000	0.9	1.4	0.7	1.0	1.0	0.1	0.0	0.9
1000万円超	3.9	12.5	1.6	4.1	4.3	1.5	-	0.2
第2号被保険者等 1人当たり平均年収(万円)	426	492	326	451	460	285	138	145
第2号被保険者等数(千人) (構成割合(%))	39,085 (100.0)	648 (1.7)	371 (0.9)	34,984 (89.5)	32,704 (83.7)	1,697 (4.3)	2,436 (6.2)	598 (1.5)

※ 「会社員・公務員」の内訳には時間区分が不詳な者がいるため、「フルタイム」と「フルタイムでない」の加入者数の合計は、「会社員・公務員」の加入者数と一致しない。

※ 第2号被保険者等のうち就業形態が不詳な者がいるため、第2号被保険者等の構成割合の合計は、100%とならない。

第3号被保険者の場合、「非就業者」、「臨時・不定期」の者の割合が多く、これらの者で約8割を占めている。「非就業者」は「50万円以下」が80.1%で最も多く、「臨時・不定期」は「50万円超100万円以下」が41.5%で最も多い。

また、第3号被保険者1人当たり平均年収をみると、「非就業者」が31万円、「臨時・不定期」が66万円となっている。

表5-4 年収階級・就業形態別第3号被保険者数の構成割合

	計	自営業主	家族従業者	会社員・公務員	会社員・公務員		臨時・不定期	非就業者
					フルタイム	フルタイムでない		
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
50万円以下 (うち収入なし)	54.5 (37.5)	80.0 (43.2)	26.3 (17.8)	18.7 (7.8)	21.7 (16.0)	18.8 (7.0)	37.5 (15.4)	80.1 (65.2)
50～100万円以下	27.5	10.4	33.3	47.4	21.0	50.3	41.5	10.2
100～150	13.3	3.5	21.4	26.8	18.2	27.9	18.7	4.6
150万円超	4.7	6.2	19.0	7.1	39.1	3.0	2.3	5.0
第3号被保険者 1人当たり平均年収(万円)	55	39	140	94	175	83	66	31
第3号被保険者数(千人)	10,091	106	205	1,516	162	1,294	3,608	4,636
(構成割合(%))	(100.0)	(1.1)	(2.0)	(15.0)	(1.6)	(12.8)	(35.8)	(45.9)

※ 「会社員・公務員」の内訳には時間区分が不詳な者がいるため、「フルタイム」と「フルタイムでない」の加入者数の合計は、「会社員・公務員」の加入者数と一致しない。

※ 第3号被保険者のうち就業形態が不詳な者がいるため、第3号被保険者の構成割合の合計は、100%とならない。

## 2 老齢年金受給者について

この項目における年収とは、給与収入、事業所得（マイナスの場合は、ゼロ）と公的年金等収入の合計値としている。なお、老齢年金の受給状況、就業形態等は平成 22 年 11 月末におけるものであり、年収は、平成 21 年の金額である。

### (1) 老齢年金受給者の年収の状況

年収階級別老齢年金受給者数の分布をみると、「50 万円超 100 万円以下」が 25.1%、「50 万円以下」が 16.5%となっている。また、男女別にみると、男性の場合、「250 万円超 300 万円以下」が 14.9%で最も多く、次いで「200 万円超 250 万円以下」、「300 万円超 350 万円以下」の順となっている。女性の場合、「50 万円超 100 万円以下」が 38.3%で最も多く、次いで「50 万円以下」、「100 万円超 150 万円以下」の順となっており、150 万円以下の者が 8 割を超えている。

老齢年金受給者における 1 人当たり平均年収は 189 万円となっており、これを男女別にみると、男性の 1 人当たり平均年収は 290 万円、女性の 1 人当たり平均年収は 103 万円となっている。

表 6 年収階級別老齢年金受給者数の相対度数分布

年 収 階 級	計					
			男性		女性	
	累積百分率 (%)	百分率 (%)	累積百分率 (%)	百分率 (%)	累積百分率 (%)	百分率 (%)
計	・	100.0	・	100.0	・	100.0
50 万円以下	16.5	16.5	4.5	4.5	26.7	26.7
50 ～ 100 万円以下	41.6	25.1	14.0	9.4	65.0	38.3
100 ～ 150	55.8	14.2	24.3	10.3	82.6	17.6
150 ～ 200	64.7	8.9	35.2	11.0	89.8	7.1
200 ～ 250	73.1	8.4	49.0	13.8	93.5	3.8
250 ～ 300	81.4	8.3	64.0	14.9	96.2	2.7
300 ～ 350	87.6	6.2	75.8	11.8	97.6	1.4
350 ～ 400	91.5	3.8	83.2	7.3	98.5	0.9
400 ～ 450	93.9	2.4	87.9	4.7	98.9	0.4
450 ～ 500	95.5	1.6	91.1	3.3	99.1	0.2
500 ～ 600	97.2	1.7	94.6	3.4	99.5	0.3
600 ～ 700	98.1	0.9	96.2	1.6	99.6	0.2
700 ～ 800	98.7	0.6	97.3	1.1	99.8	0.2
800 ～ 900	99.0	0.4	98.0	0.7	99.9	0.1
900 ～ 1000	99.2	0.2	98.4	0.4	99.9	0.0
1000 万円超	100.0	0.8	100.0	1.6	100.0	0.1
老齢年金受給者数 (千人) (構成割合 (%))	30,758 (100.0)		14,125 (45.9)		16,633 (54.1)	
老齢年金受給者 1 人当たり平均年収 (万円)	189		290		103	

## (2) 就業形態別の年収の状況

老齢年金受給者の就業形態の状況をみると、「非就業者」が72.0%で最も多く、「会社員・公務員」が8.2%、「自営業主」が7.7%となっている。

就業形態別に年収階級別老齢年金受給者数の分布をみると、「非就業者」では「50万円超100万円以下」が最も多く、次いで「50万円以下」、「100万円超150万円以下」の順となっており、150万円以下の者が6割を超えている。また、「会社員・公務員」は「300万円超350万円以下」が最も多く、「自営業主」は「50万円超100万円以下」が最も多い。

さらに、老齢年金受給者における1人当たり平均年収をみると、「非就業者」が150万円、「会社員・公務員」が479万円、「自営業主」が229万円となっている。

表7 年収階級・就業形態別老齢年金受給者の状況

	計	自営業主	家族 従業者	会社員・ 公務員	会社員・公務員		臨時・ 不定期	非就業者
					フルタイム	フルタイム でない		
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
50万円以下	16.5	8.3	14.3	1.6	0.9	3.0	7.2	20.1
50～100万円以下	25.1	22.1	30.7	3.3	1.0	7.0	14.0	28.5
100～150	14.2	17.1	20.4	5.5	3.0	9.0	14.4	14.5
150～200	8.9	13.2	13.4	5.6	4.3	7.4	14.1	8.0
200～250	8.4	8.9	6.2	7.3	6.9	8.2	9.4	8.5
250～300	8.3	7.3	5.8	10.2	10.9	8.7	12.2	8.0
300～350	6.2	5.7	1.8	11.6	13.8	8.5	8.5	5.7
350～400	3.8	4.7	2.6	11.3	12.8	9.2	8.0	2.6
400～450	2.4	3.6	0.9	8.3	9.2	7.0	5.5	1.4
450～500	1.6	2.1	1.3	8.2	8.5	7.3	2.9	0.7
500～600	1.7	2.2	0.5	8.7	8.6	9.5	2.2	0.9
600～700	0.9	1.1	0.8	4.4	5.2	3.3	1.0	0.4
700～800	0.6	1.0	0.8	3.8	3.4	4.3	0.4	0.2
800～900	0.4	0.8	0.1	2.6	2.8	2.3	0.2	0.1
900～1000	0.2	0.2	-	1.4	1.4	1.7	0.0	0.1
1000万円超	0.8	1.8	0.4	6.0	7.4	3.4	-	0.2
老齢年金受給者数(千人)	30,758	2,373	1,158	2,533	1,567	893	2,151	22,137
(構成割合(%))	(100.0)	(7.7)	(3.8)	(8.2)	(5.1)	(2.9)	(7.0)	(72.0)
老齢年金受給者 1人当たり平均年収(万円)	189	229	151	479	528	392	227	150

※ 「会社員・公務員」の内訳には時間区分が不詳な者がいるため、「フルタイム」と「フルタイムでない」の受給者数の合計は、「会社員・公務員」の受給者数と一致しない。

※ 老齢年金受給者のうち就業形態が不詳な者がいるため、老齢年金受給者の構成割合の合計は、100%とならない。